



山・川・海といった豊かな自然を有するまち、西宮市。

貴重な動植物も多数生息し、市ならではの生態系が存在しています。

誇るべき西宮の自然を未来へ引き継いでいくためには、

その素晴らしさを知り、よりよい関係を築くために学ぶことが必要です。

西宮市民は、子どもから大人まで多くの人が

多彩な環境学習活動を行っています。

その活動によって、今日の「環境学習都市にしのみや」があるのです。

## 目次

ごあいさつ ..... 1

### 巻頭記事

環境学習都市宣言10周年記念  
環境まちづくりフォーラム ..... 2

環境学習都市にしのみや ..... 5

西宮市の環境 ..... 6

環境学習都市宣言 ..... 8

環境学習都市にしのみや 協働で歩んだ10年 ..... 12

西宮ACTION! ..... 17

大切な環境を守るのは私たち西宮市民 ..... 18

市民の取り組み ..... 19

事業者の取り組み ..... 20

行政の取り組み ..... 22

三者の取り組み ..... 24

エココミュニティ会議 ..... 25

特集 子どもECOアクション! ..... 28

環境学習事業 ..... 32

未来へのメッセージ ..... 35

メッセージが創る西宮の未来 ..... 36

最新TOPICS ..... 40

## 環境学習都市宣言から 10年を迎えて



私たちが住む西宮市は、阪神間の中間に位置する利便性と山・川・海の豊かな自然環境に恵まれ、歴史的な文化遺産や大学も各所に立地するなど、快適な住環境にあるまちとして市内外からも高く評価されています。

これは、昭和38年に「環境の保全・浄化」を図り、文教住宅都市として発展していく決意を述べた先人達の努力の賜物です。私たちはこの精神を引き継ぎ、市民・事業者・行政の参画と協働による環境学習を通じた持続可能なまちづくりを進めるため、平成15年12月、環境学習都市宣言を行いました。

本市の環境学習の中心である「エコカード・エコスタンプシステム」は小学生を対象とした「EWCエコカード」に加え、幼児向けの「ちきゅうとなかよしカード」や中学生以上を対象とした「市民活動カード」を設け、充実した仕組みとなりました。また、地域に根ざした環境活動推進組織であるエココミュニティ会議では各地域に応じた特色のある活動を行うなど、環境学習を通じた持続可能なまちづくりが根ざしてきたと実感しています。

持続可能なまちづくりを進めるためには、東日本大震災を契機としたエネルギー問題や、生物多様性の保全、ごみ問題など、私たちにはまだまだ解決しなければならない課題があります。

また、地球温暖化などにも代表される環境問題については、私たちは被害者であるとともに加害者にもなる可能性があり、その解決への取り組みには市民・事業者などの皆様のご協力が欠かせません。

この記念誌は環境学習都市宣言の意義や10年間の市民・事業者・行政などの取り組みを紹介するとともに、次の10年、さらに50年後の西宮市を皆様と考えたく作成したものです。今一度、皆様が環境学習都市宣言の理念を学び、実践するきっかけとなれば幸いです。

平成26年3月

西宮市長 河野昌弘